A 試合会場レポート

V.LEAGUE DIVISION2 WOMEN ファイナル６

試合番号 **804** 開催日 **2019/03/17**

会場： **酒田市国体記念体育館**

観客数:**265**	開始時間:**13:45**	終了時間:**15:06**	試合時間:**1:21**	主審:杉村　友雄	副審:早坂　行博

群馬銀行グリーンウイングス

監督　：　石原　昭久
コーチ　：　須崎　杏

通算　：　**4** 勝 **1** 敗
ﾎﾟｲﾝﾄ　：　**15**

GSS東京サンビームズ

監督　：　笛木　彰
コーチ　：　山口　弥緒

通算　：　**0** 勝 **5** 敗
ﾎﾟｲﾝﾄ　：　**1**

3	**25**	第**1**セット【**0:26**】	**20**	**0**
	25	第**2**セット【**0:23**】	**21**	
	25	第**3**セット【**0:26**】	**22**	
		第**4**セット【】		
		第**5**セット【】		

ﾎﾟｲﾝﾄ **3**　【 】内はセット時間　（）内は交代選手　ﾎﾟｲﾝﾄ **0**

第1セット

25	新井	斉藤(古市)	天澤	勝見(小室)	**20**
	安福(三好)	鈴木	賀谷	百瀬(重松)	
	栗田(愛宕)	田中	松浦	色摩(堀部)	

リベロ: 吉岡　リベロ: 三浦

第2セット

25	新井	愛宕(古市)	天澤	勝見(重松)	**21**
	安福	鈴木	賀谷	百瀬	
	栗田(寺坂)	田中(土屋)	松浦(小室)	色摩(堀部)	

リベロ: 吉岡　リベロ: 三浦

第3セット

25	新井	斉藤(古市)	天澤(小室)	勝見	**22**
	安福	鈴木	賀谷	百瀬	
	栗田(寺坂)	田中(上地)	松浦	色摩(堀部)	

リベロ: 吉岡　リベロ: 三浦

第4セット

リベロ:　リベロ:

第5セット

リベロ:　リベロ:

<監督コメント>

今シーズン最終戦。第１セット、スタートから中盤まで拮抗した内容だったが、代わって入った古市と愛宕の活躍によりこのセットを奪った。

第２セットもスタートから拮抗する展開となったが、相手のミスによりリードし、そのままこのセットも奪った。

第３セットは前半に大きくリードするも、中盤から自チームにミスが出始め追いつかれてしまった。しかし、最後は今シーズン好調の新井のスパイクが決まりゲームセット。

V1リーグへの道が目前にありながらも３位という結果に終わってしまったことに、監督として強く責任を感じている。

最後まで全力を尽くした選手たちに、また、応援して下さったファンの皆様に感謝申し上げます。

<監督コメント>

昨日の敗戦の影響を心配したが、スタートから気迫があふれ、粘り強いバレーを展開できたと思う。

しかし、残念ながらセットを奪うことができなかった。

ファイナル６に進出したものの全敗という結果を真摯に受け止め、来シーズンに向けてチーム強化に努めたい。

レギュラーラウンドの後半から主力選手の負傷が相次ぎ、苦しい戦いとなったが、残った選手で最後までよく戦ってくれた。

シーズン中、いつも暖かいご声援を下さったファンの皆様に、心より御礼申し上げます。

<要約レポート>

昨日の勝利で勢いに乗る群馬銀行グリーンウイングスと、何としてもファイナル６で１勝を挙げたい**GSS**東京サンビームズの対戦。

第１セット、序盤からお互いに好レシーブが見られ、見ごたえのある攻防が続く。終盤、群馬銀行の攻撃力が勝り、セットを先取した。

第２セット、中盤にお互いが連続ポイントを取り合う展開を見せる。終盤、群馬銀行は新井のスパイクが決まり、セットを連取した。

第３セット、序盤から群馬銀行は栗田のサービスエースなどでリードする。**GSS**東京も勝見、色摩のスパイクで応戦したが一歩及ばず、群馬銀行がストレートで最終戦に勝利した。

作成者 ： 伊藤　育夫

※本票の著作権は一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。